



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社

コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 佐藤 公衛

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	14,377	△7.1	2,089	21.2	2,322	9.2	1,443	7.9
24年3月期第1四半期	15,473	△2.4	1,723	△16.6	2,127	△10.5	1,337	7.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 737百万円 (△6.8%) 24年3月期第1四半期 791百万円 (771.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	28.04	—
24年3月期第1四半期	24.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	144,328	123,197	85.2	2,389.75
24年3月期	144,385	123,385	85.3	2,393.17

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 123,007百万円 24年3月期 123,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,200	△8.2	2,800	△21.4	3,200	△19.3	2,000	△19.1	38.86
通期	61,300	△5.1	5,700	△23.6	6,400	△23.1	4,200	△11.9	81.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	56,911,185 株	24年3月期	56,911,185 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	5,438,263 株	24年3月期	5,438,203 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	51,472,942 株	24年3月期1Q	53,763,612 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
5. 補足説明資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、本年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行的導入が継続される一方で長期収載医薬品の追加引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、欧州債務危機の長期化や円高の進行などによる景気悪化への懸念、企業におけるIT投資及び設備投資への慎重な姿勢や個人消費の低迷など、内需の停滞を背景に厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第1四半期の業績は以下のとおりとなりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	15,473	14,377	△7.1
営業利益 (百万円)	1,723	2,089	21.2
経常利益 (百万円)	2,127	2,322	9.2
四半期純利益 (百万円)	1,337	1,443	7.9

医薬品事業の売上高は、130億4千5百万円（前年同期比2.8%減）となりました。昨年7月に新発売いたしました糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。本年4月に実施されました薬価基準引下げの影響や、ファイザー株式会社が製造し当社が販売しておりましたパーキンソン病治療薬「カバサル®錠」の本年4月からの同社への販売移管などにより減収となりました。また、欧州における前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名「ユリーフ。」）の技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、平成22年6月にドイツで発売して以降、当連結累計期間におきましても引き続き欧州各国において発売ならびに発売に向けた準備を進めておりますことなどから、輸出売上高は順調に増加しております。

その他の事業の売上高は、13億3千2百万円（前年同期比35.0%減）となりました。情報サービス業で増収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして減収となりました。

利益面では、減収による減益要因がありましたものの、医薬品事業、その他の事業ともに売上原価率が低減いたしましたこと、販売費及び一般管理費が販売費を主に減少いたしましたことなどにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は増益となりました。

研究開発の状況につきましては、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,443億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千6百万円減少しました。流動資産は受取手形及び売掛金、流動資産「その他」に含まれる前払費用が減少しましたが、現金及び預金、有価証券並びにたな卸資産が増加したことなどにより、10億5千8百万円増加し878億4千7百万円となりました。固定資産は投資有価証券が時価評価により減少したことなどにより、11億1千5百万円減少し564億8千1百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は211億3千1百万円となり、前連結会計期間末に比べ1億3千2百万円増加しました。流動負債は未払法人税等、支払手形及び買掛金が減少しましたが、流動負債「その他」に含まれる前払費用が増加したことなどにより、1億8千万円増加し148億4千2百万円となりました。固定負債は62億8千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ大きな増減はありません。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,231億9千7百万円となり、前連結会計期間末に比べ1億8千8百万円減少しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が減少したことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の85.3%から85.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月8日発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,234	20,835
受取手形及び売掛金	26,059	24,104
有価証券	26,600	27,099
商品及び製品	5,115	5,048
仕掛品	558	683
原材料及び貯蔵品	4,289	4,983
繰延税金資産	2,005	2,335
その他	2,927	2,758
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	86,788	87,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,649	36,685
減価償却累計額	△25,472	△25,685
建物及び構築物（純額）	11,177	11,000
土地	13,191	13,190
建設仮勘定	40	22
その他	14,266	14,285
減価償却累計額	△11,872	△11,998
その他（純額）	2,394	2,286
有形固定資産合計	26,804	26,499
無形固定資産	953	848
投資その他の資産		
投資有価証券	26,394	25,412
繰延税金資産	1,465	1,772
その他	2,033	1,996
貸倒引当金	△53	△48
投資その他の資産合計	29,838	29,133
固定資産合計	57,596	56,481
資産合計	144,385	144,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,499	4,222
短期借入金	2,101	2,101
未払法人税等	1,722	1,173
賞与引当金	2,015	967
その他の引当金	712	491
その他	3,609	5,885
流動負債合計	14,662	14,842
固定負債		
長期借入金	1,547	1,522
退職給付引当金	3,990	4,045
役員退職慰労引当金	130	110
資産除去債務	99	99
その他	569	511
固定負債合計	6,337	6,289
負債合計	20,999	21,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	80,716	81,233
自己株式	△8,680	△8,680
株主資本合計	120,647	121,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,536	1,843
その他の包括利益累計額合計	2,536	1,843
少数株主持分	202	189
純資産合計	123,385	123,197
負債純資産合計	144,385	144,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	15,473	14,377
売上原価	5,443	4,479
売上総利益	10,029	9,897
返品調整引当金戻入額	68	17
返品調整引当金繰入額	20	15
差引売上総利益	10,077	9,900
販売費及び一般管理費	8,353	7,810
営業利益	1,723	2,089
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	309	283
有価証券評価益	62	—
その他	49	21
営業外収益合計	434	315
営業外費用		
支払利息	10	9
有価証券評価損	—	64
その他	20	9
営業外費用合計	31	83
経常利益	2,127	2,322
特別損失		
投資有価証券評価損	—	111
減損損失	158	0
その他	6	0
特別損失合計	165	112
税金等調整前四半期純利益	1,961	2,209
法人税、住民税及び事業税	687	1,045
法人税等調整額	△60	△266
法人税等合計	627	779
少数株主損益調整前四半期純利益	1,334	1,430
少数株主損失(△)	△2	△12
四半期純利益	1,337	1,443

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,334	1,430
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△542	△692
その他の包括利益合計	△542	△692
四半期包括利益	791	737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794	750
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△12

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他（注） （百万円）	合計 （百万円）
	医薬品 （百万円）	計 （百万円）		
売上高				
外部顧客への売上高	13,424	13,424	2,049	15,473
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,007	1,007
計	13,424	13,424	3,056	16,480
セグメント利益又は損失（△）	1,835	1,835	△137	1,697

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,835
「その他」の区分の利益	△137
セグメント間取引消去	14
固定資産の調整額	8
その他の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,723

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他（注） （百万円）	合計 （百万円）
	医薬品 （百万円）	計 （百万円）		
売上高				
外部顧客への売上高	13,045	13,045	1,332	14,377
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	839	839
計	13,045	13,045	2,171	15,216
セグメント利益又は損失（△）	2,158	2,158	△109	2,048

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,158
「その他」の区分の利益	△109
セグメント間取引消去	14
固定資産の調整額	26
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	2,089

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	1,775	11.5	2,241	15.6	466	26.3
神経系用薬	644	4.2	65	0.5	△578	△89.8
感覚器官用薬	556	3.6	491	3.4	△64	△11.7
循環器官用薬	2,231	14.4	1,893	13.2	△338	△15.2
消化器官用薬	730	4.7	752	5.2	22	3.0
ホルモン・泌尿生殖・ 血液体液用薬	4,192	27.1	4,159	28.9	△33	△0.8
アレルギー用薬	484	3.1	461	3.2	△23	△4.8
その他	2,809	18.2	2,980	20.7	170	6.1
報告セグメント計	13,424	86.8	13,045	90.7	△378	△2.8
その他の事業	2,049	13.2	1,332	9.3	△716	△35.0
合計	15,473	100.0	14,377	100.0	△1,095	△7.1
(うち輸出高)	(578)	(3.7)	(1,362)	(9.5)	(784)	(135.6)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

5. 補足説明資料

(1) 連結決算概要

(百万円)

項目	平成24年3月期		平成25年3月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
売上高	15,473	64,618	14,377	△ 7.1%	29,200	61,300
営業利益 (売上高比%)	1,723 (11.1)	7,465 (11.6)	2,089 (14.5)	21.2%	2,800 (9.6)	5,700 (9.3)
経常利益 (売上高比%)	2,127 (13.7)	8,326 (12.9)	2,322 (16.2)	9.2%	3,200 (11.0)	6,400 (10.4)
当期純利益 (売上高比%)	1,337 (8.6)	4,769 (7.4)	1,443 (10.0)	7.9%	2,000 (6.8)	4,200 (6.9)
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費) (売上高比%)	8,353 (2,406) (15.5)	34,305 (10,043) (15.5)	7,810 (2,232) (15.5)	△ 6.5% (△ 7.2%)	16,800 (5,200) (17.8)	34,400 (11,200) (18.3)
輸出高	578	2,793	1,362	135.6%	1,170	2,660

(2) 主要医薬品売上高

(百万円)

製品名	平成24年3月期		平成25年3月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
排尿障害改善薬 ユリーフ	2,666	11,156	2,720	2.0%	5,930	12,060
糖尿病治療薬 グルファスト	1,194	4,299	931	△ 22.0%	2,020	3,930
糖尿病治療薬 グルベス	-	668	368	-	700	1,600
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	262	1,046	293	11.9%	590	1,200
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	580	2,899	940	62.0%	1,890	4,070
高脂血症治療薬 ベザトール	1,846	7,091	1,582	△ 14.3%	3,180	6,230
切迫流・早産治療薬 ウテメリン	1,052	4,338	992	△ 5.7%	2,130	4,050
脳循環改善薬 キサンボン	384	1,467	310	△ 19.3%	660	1,260
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液	356	2,086	306	△ 13.9%	780	1,790
アレルギー性疾患治療薬 リザベン	417	1,723	398	△ 4.4%	850	1,660
気管支喘息治療薬 ドメナン	67	257	63	△ 6.8%	120	240
血液凝固阻止剤 フラグミン	150	595	118	△ 21.0%	250	460
緑内障・高眼圧症治療薬 リズモンTG点眼液	173	648	146	△ 15.2%	280	530
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ	156	693	152	△ 2.6%	330	650
活性型ビタミンD ₃ 製剤 フルスタン	166	622	175	5.0%	330	640

(3) 新薬開発状況(自社)

(平成24年8月現在)

開発段階	製品名／ 一般名／ 開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
第Ⅲ相	グルファスト® ／ミチグリニド	創製品	2型糖尿病 (DPP-4阻害剤、ビグアナイド系薬剤との併用療法)	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
第Ⅱ相	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	
	オザグレル／ KCT-0809	創製品／テイカ製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	
	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
	ユリーフ® ／シロドシン	創製品	尿路結石症	α1A受容体拮抗作用	効能追加
	PA21	導入品／ビフォーファーマ(スイス)	透析時高リン血症	リン吸着作用	
	KWA-0711	創製品	慢性特発性便秘症	消化管における水吸収抑制作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズ・エー・シー、 東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域： フランス
	デクスラゾキサソ ／KDX-0811	導入品／スペファーム(オランダ)	アントラサイクリン系抗がん剤の血管外漏出	トポイソメラーゼⅡ阻害作用	
第Ⅰ相	サラジェン® ／ピロカルピン	自社開発	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善 シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	剤形追加 (顆粒剤)
	KUX-1151	創製品	痛風、高尿酸血症	尿酸生成抑制・排泄促進作用	

※前回公表時(平成24年5月)からの変更点: なし

(4) 新薬開発状況(導出)

(平成24年8月現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	アセアン ^{※1}	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)		アセアン ^{※2} 、インド ^{※2} 、スリランカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1A受容体拮抗作用
第Ⅲ相	ミチグリニド (mitiglinide)	USV(インド)	インド	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β 2受容体刺激作用
第Ⅰ相	KGA-3235	グラクソ・スミスクライン(イギリス)	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	2型糖尿病	小腸における糖吸収抑制作用
	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β 2受容体刺激作用

※前回公表時(平成24年5月)からの変更点: なし

※1: 発売: タイ、承認: フィリピン、申請中: 1カ国

※2: 申請中: アセアン3カ国、インド